

令和4年第1回木津川市議会定例会（3月15日）

一般質問通告書

1	山本 しのぶ
質問事項： 消防用地選定について市民が納得できるまで説明を	
質問要旨	<p>令和2年末に、新消防庁舎建設の基本構想が示されました。しかし、移転先の付近は土砂災害特別警戒区域に指定されており、庁舎を建設するには斜面安定化工事が必要な土地です。また、本構想には、兜台6丁目にある木津西出張所と山城町にある山城出張所の廃止が計画されていることについて、市民から不安の声が上がっています。そこで、以下のとおり質問します。</p> <p>(1) 平成30年第4回政策会議の議題は、「本市所有地の有効活用（消防署建設用地）について」、また、要旨結果は、「資料を基に説明があり、提案のとおり実施することに決定した。」とありました。候補地の選定について、政策会議で十分に議論されましたか。政策会議以前に、市長・副市長と数名の職員が参加する協議の中で、消防署建設用地を決定されたものではありませんか。伺います。</p> <p>(2) 市の重要な意思決定について、市民への説明責任を果たすには、経緯も含めた決定に至る過程、すなわち、いつ、どこで、誰が、どのように決めたのかを公文書（議事録）に残す必要があります。消防署建設用地選定を行った協議に係る議事録をなぜ策定しなかったのですか。誰もが納得できる理由を求めます。</p> <p>(3) 城山台9丁目1番地を最適地と考えた根拠は何ですか。</p>
質問事項： 発達障がい者に手厚い支援を	
質問要旨	<p>障がい児支援の体制整備について、国の基本指針は、2020年度末までに各市町村に少なくとも1か所以上「児童発達支援センター」を設置することとしています。児童発達支援センターは、障がい児に対する重層的な地域支援体制づくりのための中核的な施設だからです。現在、市にセンターがない状況の中で、保護者の方々から困りごとを聞いています。そこで、以下のとおり質問します。</p> <p>(1) 昨年3月の定例会にて全員賛成で採択された「児童発達支援センターの早期設置を求める請願書」には、「令和3年度上半期中に、協議を行う場が設定されること」とありました。進捗状況を伺います。</p> <p>(2) 子ども達のライフステージを通じて、保護者と共に関係機関が連携を強め、情報の面から支えていこうとする取り組みが必要です。生駒市の「ライフステージに応じた支援機関の一覧表」や「たけまるノート」等のように、保護者と支援者が連携強化できる取り組みを進めるべきではありませんか。</p> <p>(3) 京都府の「移行支援シート」を保護者と学校等関係機関に、周知・普及ができていますか。</p> <p>(4) 発達障害者支援法にある「個別の教育支援計画」を教育現場で作成していますか。</p> <p>(5) 市における、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニングの実施状況は。</p> <p>(6) 障がい児に対する支援の必要性が高まる中で、親子教室（発達に援助が必要な子どもと、子どもの発育に不安を抱える保護者のための居場所）の再開を検討すべきでは。</p>
質問事項： 市民の笑顔のために問う	
質問要旨	<p>1 「木津川市立小中学校の在り方に関する基本計画」策定のスケジュールは。</p> <p>2 「木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）」策定の経緯と今後のスケジュールは。幼稚園の園児数は減少していますが、障がいのある園児数は増えていませんか。多方面から現状を把握するために、パブリックコメントだけでなく保護者、教職員、地域住民の意見をアンケート調査で確認するとともに、地域住民への説明会も実施すべきです。</p> <p>3 令和2年3月議会で答弁された「放課後児童クラブ災害対応マニュアル」の作成、並びに木津川市放課後児童クラブ運営規程にある「定期的な避難及び消火訓練」は実施できましたか。</p> <p>4 令和2年1月実施「第2期子ども・子育て支援事業計画」のパブコメ結果に、「今後は、物資選定委員会や献立作成委員会の設置も必要と考えている。」とありましたが、進捗状況は。</p>

質問要旨	5 小中学校の図書購入予算について、クラス数だけではなく利用率を考慮する考えは。
	6 令和2年12月議会で検討するとして「木津川市LINE公式アカウント」の進捗状況は。
	7 令和3年9月議会で検討するとして「公園施設長寿命化計画」策定のスケジュールは。

2 大角 久典	
質問事項： 地球温暖化対策実行計画について	
質問要旨	政府は、2月8日脱炭素に取り組む自治体に対し、国の財政支援を努力義務化することなどを盛り込んだ地球温暖化対策推進法改正案を閣議決定した。自治体の取り組みを支援して地域の脱炭素化を促すとともに民間資金を呼び込むようです。令和4年度の河井市長の施政方針の第6に「快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり」の二つ目で木津川市地球温暖化対策実行計画の策定についてお聞きします。
	(1) ゼロカーボンシティを宣言している自治体が増加しているが、本市も宣言する考えは。
	(2) 昨年より、広報きづがわの環境のページで、ちょっとしたことでCO2の削減になる記事を掲載しているが反響は。
	(3) 太陽光発電、風力発電、バイオマス発電等々の再生可能エネルギーがあるが、本市としての取り組みは。
質問事項： スポーツ施設の充実を	
質問要旨	昨年の東京オリンピック競技大会の新競技であるスケートボード（スケボー）は、金メダルを獲得したことで人気スポーツとなりました。そこで本市としても専門の施設等を創設する考えは。
	(1) スポーツ専用の公園設備計画は。
	(2) オリンピック選手を育てられるようなスポーツセンターを建設する考えは。

3 森本 茂	
質問事項： コロナ第6波の猛威に打ち勝つためには	
質問要旨	政府は、2月17日、京都を含む17道府県のまん延防止等重点措置の期限を3月6日まで延長した。
	2月17日現在、新型コロナによる府内の死者数累計は345人。そのうち第6波（令和3年12月21日から）の死者数が61人となった。府は、新規感染者の多さが死者数を押し上げているとみている。死者の年代別では、70代以上の高齢者が多く、死因については、第6波では、持病などが悪化したケースが多い傾向とされている。第6波のオミクロン株は感染力の強さが特徴で、感染者数は第5波の3.5倍に膨らんでいる。府健康対策課は、「特に重症化リスクのある人への感染を防がなければならない」としている。
	本市においても、多くの新規感染者が続いている。主なものとして、2月4日に156人、2月6日に119人、2月17日109人、2月20日51人の方が、オミクロン株に感染されている。特に高齢者と子供たちの感染を抑えなければならない。そこで質問いたします。
	(1) 市役所業務を継続させるために、どのような具体的指示を出したのか。
	(2) なぜ、3回目接種をもっと早く実施できなかったのか。
	(3) 今日現在、60歳以上の高齢者の3回目接種完了者は何人か。また全人口の何%になるのか。
	(4) 土曜日、夜間、個別接種は実施できるのか。
	(5) 本市の新規感染者数は発表されるが、その内訳、軽症、中等症、重症、死亡者や、年代別の内訳など詳しいデータはつかんでいるのか。つかめているならホームページに掲載すべきでは。
	(6) 自宅療養者へのフォロー対策として、府と覚書を交わし、生活支援の連携強化は、できているのか。
	(7) 軽症者等への経口治療（飲み薬）モルヌピラビル（米メルク社）は行き渡っているのか。

質問要旨	<p>(8) 本市の高齢者施設でのクラスターは発生しているのか。また、入所者と職員の3回目接種は済んでいるのか。</p> <p>(9) いわゆるエッセンシャルワーカーの3回目接種は済んでいるのか。</p> <p>(10) 保育園、幼稚園、小学校・中学校、児童クラブでも、子どもや先生・職員がコロナ感染しているが、対策は。また、抗原検査キットは足りているのか。</p> <p>(11) 山城中学校の修学旅行はどうなったのか。</p> <p>(12) コロナ禍でも安心して出産育児ができるように妊婦特別給付金10万円の給付は、コロナ収束後も目的を変更して断続すべきと考えるが見解は。</p> <p>(13) 12歳から17歳は、3回目の接種はないのか。</p> <p>(14) 5歳から11歳は、どのようなワクチンで、1回目接種はいつから始まるのか。</p> <p>以上について、市の見解をお伺いします。</p>
質問事項： 府営水道の広域化と下水道整備について	
質問要旨	<p>1 特に水道事業は、「安全」で「持続性」の確保が将来にわたり必須である。その中で、水道事業体が抱えている問題としては、どのような課題があるのか。そして、そのことが府営水道の広域化とどうリンクしてくるのか。なぜ広域化が必要なのか。そして今、広域化に向けてどんな検討をしているのか。また、上下水道部の組織体制の見直しについても、市の見解をお伺いします。</p> <p>2 令和3年12月定例会の都市計画税と下水道整備についての一般質問に対して、下水道工事の実施時において、汚水処理の必要のない土地については、市は公共汚水桝及び取付管は設置していませんとの回答でした。また、著しく低い土地と広大な土地については、公共下水道の本管整備に不利益を得る場合には、個人で負担いただき接続してもらうことになるとの回答でした。</p> <p>また、下水道の整備が完了した区域でも、奥地の土地や広大な土地という理由で下水道に接続できない箇所が、木津、加茂、山城地区に複数件存在すると答弁されました。</p> <p>そこで、再度質問いたします。</p> <p>(1) 公共汚水桝等の設置基準である「汚水処理が必要か必要でないか」の判断は、何をもちて判断されるのか。</p> <p>(2) 公共下水道の「本管整備に不利益を得る」とは具体的にはどのようなことをいうのか。また、不利益と判断する基準は何か。</p> <p>(3) 下水道の整備が完了した区域で、奥まった土地や広大な土地であるとの理由で下水道に接続できない場合の対処についてどのように考えておられるのか。</p> <p>(4) 下水道本管への接続を希望しているのに、接続ができなくなった場合、土地所有者に、都市計画税の納税義務があるのか。</p> <p>以上について市の見解をお伺いします。</p>
質問事項： 市民からの声	
質問要旨	<p>1 高の原幼稚園の令和6年度末をもつての廃園について、パブリックコメントではどのような意見が出たのか。また、説明会等では、どのような意見や要望が出たのか。</p> <p>兜台・相楽台地域の理解・コンセンサスは進んだのか、市の見解をお伺いします。</p> <p>2 府道324号木津加茂線並びに市道木1305号大井手川線の重複区間に、大黒天物産(株)の運送用車両の出入り口ができると聞いているが、交通安全上からも速度規制が必要と考える。警察及び公安委員会への要望を含め、市の見解をお伺いします。</p> <p>3 木津川市立中央図書館、加茂図書館、山城図書館に自習席があるが、特に中央図書館が暗いと聞いている。水銀灯の下の机や、西側はブラインドがしてあり暗い。3館の蛍光灯等のLED化の状況とスケジュールをお伺いします。</p>

4 伊藤 紀味枝	
質問事項： 災害から市民を守り、安心・安全なまちづくりを	
質問 要 旨	<p>施政方針に「災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり」として、内水対策の強化とあります。具体的には、小川流域の浸水対策として、新たなポンプ施設の設置事業を着実に推進し、更なる排水能力の強化に取り組まれます。</p> <p>(1) 木津合同樋門排水ポンプ施設増設工事12億5100万円が予算計上されています。工事のタイムスケジュールはどの様になっているのか。</p> <p>(2) 敷地面積の内、ポンプ建屋の広さは、内垣外地内ポンプ施設設置工事費に4000万円が計上されている。木津小学校から北北西の三角公園（通称）の所と思うが、これで木津小学校の校庭の浸水は防げるのか。</p>
質問事項： 城陽井手木津川バイパス事業の進捗状況は	
質問 要 旨	<p>城陽井手木津川バイパスは、木津川が破堤した時の国道24号の代替道路として位置付けています。また、交通渋滞の緩和、企業誘致、経済効果等、市にとっても大変重要な道路になります。そこで質問します。</p> <p>(1) 城陽井手木津川バイパス事業の現在の進捗状況と全体の工事スケジュールは、どのようになっているのか。（地籍調査、測量、地質調査、用地取得等、詳細をお願いします。）</p> <p>(2) その他の道路の接道も大事である。</p> <p>① 国道163号の結節点については、市内外の人が多様な機能を有した「にぎわい施設」の整備に向けた検討をすると市は考えていますが、現状はどのようになっていますか。（広域交流軸としての位置付けになっています。）</p> <p>② 府道枚方山城線の延伸計画は、どのようになっているのか。（拠点・市街地交流軸としての位置付けになっています。）</p> <p>(3) 新名神高速道路の開通時期が2027年度になる見通しと発表がありました。このことにより、城陽井手木津川バイパス事業の影響は、どのようになるのか。</p>

令和4年第1回木津川市議会定例会（3月16日）

一般質問通告書

1 河口 靖子	
質問事項：市制15年を迎えた検証と今後の取組みは	
質問 要 旨	<p>3町が合併し、15年が経過しました。行財政改革の元で、地域格差ができることはおかしなことです。特に高齢者や障がいを持った弱者は、すぐに適応できないと思います。</p> <p>木津を中心としたまちづくりが15年間ででき上がってきました。それならば加茂や山城地域を結ぶには放射線状に交通網を整備することが必要です。</p> <p>以上の総合的な観点から、以下のことを問います。</p> <p>(1) 第3次市行財政改革大綱に基づく行動計画の結果報告（令和3年11月24日現在）の評価は。また、これを次年度にどのように繋げていくのか。</p> <p>(2) 安心・安全のまちづくりについて</p> <p>① 防災意識の向上と危機管理体制の充実を図る具体的な方法は。</p> <p>② 地域でともに助け合う、災害に強いまちづくりの具体的な方策は。</p> <p>③ 災害対策基本法が5月に改正され、個別避難計画の作成が努力義務として追加されましたが本市の考えは。</p> <p>④ 買い物難民を救う方策は。</p> <p>(3) 生涯学習・生涯スポーツの活動場所の拡充について。</p> <p>(4) 市民にとって使いやすい、また、憩いの場としてなど、図書館の在り方は。</p> <p>(5) 木津川市立小中学校の在り方検討委員会の進捗状況は。</p> <p>(6) 公共下水道使用料の見直しと経営の合理化について。</p> <p>(7) 市のSDGs取組みの成果について。</p>

2 宮嶋 良造	
質問事項：公立幼稚園再編計画を白紙に戻し、高の原幼稚園閉園計画は中止せよ	
質問 要 旨	<p>1 パブリックコメントに示された市民や保護者の声に応じて幼稚園再編計画は、白紙に戻すべきです。</p> <p>2 高の原幼稚園閉園計画は中止してください。</p> <p>3 3園に必要な施設整備と定員設定を行い、地域の身近な幼稚園を存続すべきではないですか。</p>
質問事項：集合住宅でのEV車使用と防災対策	
質問 要 旨	<p>CO2の削減と集合住宅の防災対策を問います。</p> <p>(1) 分譲マンション、UR賃貸住宅など集合住宅でEV車を購入・使用するためには、充電設備が必要です。設置補助を行ってはどうでしょうか。</p> <p>(2) 南海トラフ地震等の大地震が発生した際、集合住宅でエレベータに長時間閉じ込められることが想定されています。エレベータ内に非常灯や防災用品の設置が推奨されていますが、住民の負担も大きく進んでいません。市としての補助を考えるべきではないですか。</p> <p>(3) 上記を踏まえ、集合住宅での生活支援の相談窓口を設置してください。</p>
質問事項：市民の力でごみ減量を図れ	
質問 要 旨	<p>MOTTAINAI便りVol.117をもとに、以下の質問をします。</p> <p>(1) 令和3年度11月までの1日1人あたり排出量を409.0gと発表しましたが、有料化スタート時の平成30年度排出量404.8gを上回っています。なぜ、ごみ量が増加したのか、分析は行われていますか。</p> <p>(2) 令和3年度可燃ごみ組成調査(11月実施)の概要が紹介されていますが、分析の詳細を示し、前回実施と比べ、何が改善され、何が課題かを示してください。</p>

質問要旨	<p>(3) 廃プラスチックごみが容器包装ごみに混入するなど、なかなか分別が徹底されていません。</p> <p>市民の中には、廃プラスチックごみを焼却することに疑問もあります。どのように取り組むのですか。</p>
------	--

3 谷口 雄一	
質問事項： 今後の学校プールの在り方は	
質問要旨	<p>文部科学省が行っているスポーツ施設の調査によると、屋外プールを持つ小中学校は、平成8年から平成30年の間に約25%減少しているとの報告があります。また、老朽化した学校プールを廃止し、民間スイミングスクールや公営プールなどを活用して水泳授業を行っている事例が、全国的に広がっています。</p> <p>このような背景の中、耐用年数や今後の更新・改修費用の増額が見込まれる観点から、本市においても、今後の学校プールの在り方について早急に方針を決定することが重要と考えます。一方で、子どもたちには、より効果的な水泳教育がなされることを期待し、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 今年1月に会派で学校プールを視察した際、一部の施設において安全面で懸念がある箇所を確認した。</p> <p>学校プールの老朽化の状況と劣化調査の実績は。改修が必要な施設や設備機器について、改修計画は。来年度の水泳授業では、いずれの学校においても、安全面、衛生面、機能面において、問題なく実施が可能であるとの認識か。</p> <p>(2) 現状の維持管理に係る経費と、今後の更新や改修費用を含めた経費の見通しは。</p> <p>(3) 山城プールや民間施設を活用しての水泳授業の内容は。これまでの自校プールでの水泳授業と比較して、メリットおよびデメリットはどのように評価しているのか。</p> <p>(4) 学校プールの在り方について、現状と今後を見据えた方針は。また、方針決定に際し、現在設置している「小中学校の在り方検討委員会」に諮問し、策定される基本計画を参考にしているかどうか。</p>
質問事項： 消防水利の整備は万全か	
質問要旨	<p>地域防災・消防の重要施設である消防水利の設置状況と、今後の整備計画および維持管理について、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 消防水利（防火水槽・消火栓）について、設置状況は。</p> <p>(2) 特に蓋無しの防火水槽は、水量の確認や消防活動の障害となり得る水草や雑草の除去、また、子どもたちが転落の危険もあることから、フェンス等の点検や整備が欠かせないと考える。</p> <p>保守点検や維持管理の状況は。</p> <p>(3) 消防水利の位置情報は、どのように消防団や自主防災組織に周知共有されているのか。</p> <p>全国では自治体のオープンデータを活用し、スマホアプリ内で消防水利の位置情報を把握できるサービスを提供している事例もあるが、取組みに対する評価はどうか。市スマート化宣言の趣旨に合致する取組みと考えるが、導入の検討はどうか。</p> <p>(4) 市総合計画では、消防施設や防火水槽等の充実、また、地域防災計画では、震災に強い防火水槽の整備促進を図るとともに、年次計画に基づいた整備強化が示されているが、具体的な内容は。</p>

令和4年第1回木津川市議会定例会（3月17日）

一般質問通告書

1 炭本 範子	
質問事項： ICT教育の実践状況は	
質問要旨	<p>国のGIGAスクール構想により、市もICT教育のため、令和2年度に教室等に環境整備をし、タブレットパソコン授業が始まっています。コロナ禍や教員不足による影響も含めて現状についてお伺いします。</p> <p>(1) 教職員の配置状況は。</p> <p>(2) ICT活用による現在の状況と効果は。(大規模校、中規模校、小規模校での違いは。)</p> <p>(3) コロナ感染対策により仕事が増え、その上での情報機器を活用しての授業であるが、教師への負担は増えていないか。</p> <p>(4) 先生によっては、ICTが苦手な方がおられると思うが、ICT支援員の配置状況は。</p> <p>(5) 学校に行くことができない児童生徒への対応は。</p> <p>(6) オンライン授業は実施しているのか。持ち帰り、家庭学習や宿題の状況は。</p> <p>(7) 学校行事への影響は。特色を活かした学校づくりが大切な中で、コロナ禍、教師不足、ICT活用により減少はしていないのか。</p>
質問事項： パートナーシップ宣誓制度の導入を	
質問要旨	<p>最近、性的マイノリティ（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）やLGBTなどの言葉をよく耳にします。他にも、自分の性別を決めていない、男女どちらでもあると感じている人など多くの形があります。2020年、ある会社の調査では、性的マイノリティの割合は約10%という結果もあります。よそ事ではないと思っています。</p> <p>性的少数者のカップルの関係を公的に証明するパートナーシップ制度の導入は、35道府県のうち5府県と141市町があり、京都府では京都市、亀岡市、長岡京市、向日市が導入しています。市においても、誰もが安心して暮らし、自分らしく生きること、生きやすい世の中にならなければならないと考えます。多様な性を正しく理解し、同性カップルの存在を認めることが必要です。市の見解と導入についてお伺いします。</p>

2 西山 幸千子	
質問事項： 「魅力ある地域資源を活用した観光振興」で、市の果たす役割とは	
質問要旨	<p>「美しい日本の歴史風土100選」や「美しい日本の歩きたくなる道500選」などに選ばれた当尾地域。木津川市の魅力である観光資源を積極的に発信すべきです。また、訪れてくれた人の満足度を上げることも大切です。</p> <p>(1) JR奈良駅から当尾・浄瑠璃寺までの路線バスがなくなった経緯は。</p> <p>(2) 「観光急行バス」になったのは、いつからですか。地元への説明はどのようにしましたか。</p> <p>(3) 現在の状況はどうなっていますか。</p> <p>(4) 以前は「浄瑠璃寺南口」バス停があり、奈良市から歩いて浄瑠璃寺へと訪れることができ歴史的繋がりも感じられました。今はどうなっていますか。</p> <p>(5) 浄瑠璃寺から奥之院や水呑み地蔵へ足を伸ばし、そのまま市道加2092号を通り奈良市側に抜けることができていました。途中で柵や門扉が付けられている理由は。また、許可した時の条件は。</p> <p>(6) 浄瑠璃寺近辺で野犬が徘徊しています。また道沿いでの不法投棄も時折見受けられます。どのように対応しているのですか。</p>

質問事項： 「公文書」の位置付け	
質問要旨	<p>1 「公文書」とは何をさしますか。</p> <p>2 どの時点から「公文書」になりますか。</p> <p>3 保存年限の違いは。</p> <p>4 後関とはどのような場合に行われるのですか。</p>

3 高岡 伸行	
質問事項： J R奈良線の複線化の取組みを問う	
質問要旨	<p>J R奈良線は京都～奈良間を結ぶ幹線鉄道であり、京都市域及び山城地域における鉄道として、木津川市の観光振興や関西文化学術研究都市の発展、企業誘致などにおいても重要な役割を果たしています。</p> <p>今年で、明治29年の奈良鉄道株式会社の開通から124年が経ちました。令和4年度末に開通予定の第二期工事区間の完了が目の前に迫っています。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>(1) J R奈良線の複線・高速化に向けた市の考えは。</p> <p>(2) 早期に完成するために、関係機関に要望はされていますか。</p> <p>(3) 第二期工事の現在の進捗状況は。</p> <p>(4) J R奈良線高速化・複線化に関する工事の内容は。また、関連する駅舎改築工事への負担は。</p> <p>(5) J R奈良線は、京都～奈良間を結ぶ観光利用の多い路線です。その価値を利用した観光戦略の考えは。また、インバウンド回復後の取組みは。</p>
質問事項： ごみ収集のあり方を問う	
質問要旨	<p>市が発足して15年を迎えましたが、収集効率や地域環境保全の観点から、望ましい拠点収集方式を目指すという市の姿勢を達成するには、大きな課題があると思われます。循環型社会推進基金を活用しての課題解決に向けた市の取組経過と、進捗状況について質問します。</p> <p>(1) これまでの取組状況と効果について。課題・問題点があるとするれば、それをどう捉えていますか。</p> <p>(2) 拠点収集を戸別収集に置き換えた場合のメリット、デメリットは。また、収集コストへの影響はどうか。</p> <p>(3) 今後、市の十数年先を見据え、開発に伴うごみ拠点集積所の設置を設けるなど、開発指導要綱を見直すべきでは。</p>